



No.131

社会福祉法人

南風荘だより



社会福祉法人 南風荘

〒755-0152 山口県宇部市あすとぴあ2丁目2-15
TEL(0836)43-6211 FAX(0836)43-6225
E-mail selp-n@ace.ocn.ne.jp
URL http://www.nanpuso.or.jp

「青天」を求めて

理事長 西重 國隆

今日、急速に進む温暖化と共にこの度の九州・山口圏域のみで避難指示・避難勧告が150万人を超える異常とも言える集中豪雨や地震・火山の噴火等による自然災害をはじめ、一代を単位としたあるべき人生設計の追求の旅が加速しているところであります。

消費型から蓄積型へ、点から面へ、拡散から継承への転換などが望まれる昨今の社会情勢であるのでは無いかとの思いを募らされているのであります。

私が生まれ育んでくれた地域(旧自治会区域)では、数十年前に団地が2カ所整備され、それぞれ自治会が新たに誕生したのであります。また、十年前頃からは一戸建て住宅が建設されるようになり、私が小・中学校に通う頃には、確か22戸から24戸位だったと記憶しておりますが、現在では130を超える自治会員を抱える自治会になっているのであります。更に、自治会に未加入の方々が、定かではありませんが40戸(世帯)を超えるのではないのかなと思っている地域でございます。

従来からお暮らししておられるお宅においても、その相続人の方々は都会等に居を構えておられ、山林は勿論のこと田畑や宅地等の境界すらわからないのが、現状ではなからうかと推察いたしているのであります。

さて、地域社会はこのような状況にあるのも一つの見方として、できるではありませんが、利用者の方々が何時までも安心して暮らしになるには、多様な継承のあり方があるのではなからうかと思うのであります。しかし、ご支援させてもらっている社会福祉法人が、各世帯の継承のあり方まで立ち入ることはタブーであります。

ただ、利用者の皆様方が、地域の方々と共に安心して暮らしただく、グループホームなどの施設の運営にあたっては、地域の一員として活躍できる対応・対策のあり方を追求して参らなければなりません。その切り口は多様に存在しているものと推察しているところでございます。

いずれに致しましても、利用者の方々が地域の方々に巻き込まれた、いや巻き込んだ新たな施設の創造に向け、最善の努力を傾注して参らなければと決意を新たにしております。

*平成29年度決算等については、次頁の通りであります。ただ、読み違いを生じた施設もございましたが、法人本部を抱える施設をはじめ健全経営の再興の兆しを示すものになったものと思っております。



平成29年度 社会福祉法人南風荘事業報告

改正社会福祉法の施行に伴い、評議員選任・解任委員会で選任された評議員の任期が4月1日から始まり、平成28年度定時評議員会において理事・監事の選任(案)、役員の報酬規程の改正(案)及び地域における公益的な取り組み(案)について承認を受けた。決算理事会以降、四半期ごとに理事会を開催し、理事長から事業経過報告として法人の経営状況の報告を実施した。

公益的な取り組みとして、川上校区買物等支援連絡協議会の立ち上げに携わり、地元2法人と協同して地元片倉地区の住民の買い物支援として週1回の買い物バスの運行を始めた。3か月に1回の担当で、毎回5～6名の方が利用されており好評との報告を得ている。また、3か月ごとに同協議会を開催し、問題点等の検討等を行った。

セルプ岡の辻の就労移行支援事業の独立については、前年度から引き続き候補地を探していたところ、セルプ岡の辻と同規模の物件が見つかり、しかも当法人の経営するセルプ藤山に隣接する場所であったことから、所有者と交渉し、当方の示した額で了承が得られたため、次年度10月開設をめどに準備を進めている。

今年度から理事会、評議員会の権限や責任が法律で規定されたことに伴い、役員報酬や損害賠償責任について検討し、役員報酬については現行の報酬及び費用弁償規程で対応し、損害賠償責任については、新たに損害賠償責任保険に加入して対応することとした。

事業経営の透明性を図るため、情報公開として従来の計算関係書類に加え、定款や役員名簿等をホームページに掲載するとともに、法人事務所に備え置きし、来訪者がいつでも閲覧できるように対応し公表を図ってきた。

重点事項として以下の取り組みを行った。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| (1) 経営組織のガバナンスの強化 | (6) 法人ホームページを活用した情報発信 |
| (2) 事業経営の透明性の向上 | |
| (3) 地域における公益的な取組を実施するための検討 | (7) 工賃アップ対策の強化 |
| | (8) 人材確保対策の推進 |
| (4) 財務規律の強化 | |
| (5) 職員資質の向上 | |

社会福祉法人 南風荘
常務理事 河原 照正

各事業所住所・電話番号

◎セルプ南風

◎ふれあいのお店 南風

〒七五五-〇一五二

住所 宇部市あすとぴあ二丁目二一五

TEL 0836-43-6211

FAX 0836-43-6225

E-mail selb-n@ace.ocn.ne.jp

◎セルプときわ

〒七五五-〇一五一

住所 宇部市大字西岐波

TEL 0836-54-0130

FAX 0836-51-0335

E-mail selb-tkw@juno.ocn.ne.jp

◎セルプ岡の辻

〒七五五-〇一五一

住所 宇部市大字西岐波字

TEL 0836-54-2960

FAX 0836-54-2961

E-mail selb-o@juno.ocn.ne.jp

◎セルプ藤山

〒七五五-〇八〇八

住所 宇部市西平原四丁目三四二一

TEL 0836-38-6666

FAX 0836-38-6667

E-mail selb-f@cosmos.ocn.ne.jp

◎ぴあ南風

〒七五五-〇〇六二

住所 宇部市鶴の島町五一二

TEL 0836-31-5151

FAX 0836-31-5160

E-mail pianan1@circus.ocn.ne.jp

平成29年度 決算報告書

貸借対照表

平成30年 3月31日現在

単位：千円

資産の部		負債の部	
流動資産	274,742	流動負債	64,583
現金預金	130,207	事業未払金	51,236
事業未収金	93,860	その他の未払金	7,380
未収金	13,675	職員預り金	5,967
商品・製品	3,084		
原材料	2,821		
立替金	30,198		
前払費用	897		
固定資産	805,369	固定負債	411,164
基本財産	679,897	設備資金借入金	325,566
土地	87,428	長期運営資金借入金	50,000
建物	592,469	退職給付引当金	35,598
その他の固定資産	125,472	負債の部合計	475,747
構築物	39,866	純資産の部	
機械及び装置	3,299		
車輛運搬具	6,288	基本金	106,654
器具及び備品	27,623	国庫補助金等特別積立金	321,994
権利	420	その他の積立金	0
ソフトウェア	1,638	次期繰越活動増減差額	175,716
退職給付引当資産	35,598	(うち当期活動増減差額)	△ 9,464
差入保証金	9,481	純資産の部合計	604,364
その他の固定資産	1,259		
資産の部合計	1,080,111	負債及び純資産の部合計	1,080,111

事業活動計算書

(自)平成29年 4月 1日

(至)平成30年 3月31日

単位：千円

サービス活動 増減の部	収益	791,852
	費用	804,596
	増減差額	△ 12,744
サービス活動 外増減の部	収益	7,328
	費用	3,729
	増減差額	3,599
特別増減の部	収益	0
	費用	319
	増減差額	△ 319
当期活動増減差額		△ 9,464
繰越活動増減 差額の部	前期繰越活動増減差額	185,180
	当期末繰越活動増減差額	175,716
	その他の積立金取崩額	0
	次期繰越活動増減差額	175,716

資金収支計算書

(自)平成29年 4月 1日

(至)平成30年 3月31日

単位：千円

事業活動による 収支	収入	799,180
	支出	762,929
	収支差額	36,251
設備整備等による収支	収入	0
	支出	32,259
	収支差額	△ 32,259
その他の活動による収支	収入	51,966
	支出	55,088
	収支差額	△ 3,122
当期資金収支差額		870
前期末支払資金残高		203,384
当期末支払資金残高		204,254

財産目録

平成30年 3月31日現在

単位：千円

資産の部	
流動資産	274,742
固定資産	805,369
資産合計	1,080,111
負債の部	
流動負債	64,583
固定負債	411,164
負債合計	475,747
差引純資産	604,364

シリーズ 障害のある子を持つ親の気持ち

正司 愛子

我が家の二男が家族の一員になって早いもので三十四年が経ちました。思い起せば、涙したり、喜んだり色々な事がありました。三か月検診の時に医大を紹介され一抹の不安を覚え受診しました。後日、検査結果は「子供さんはダウン症です。」と告げられました。私は初めて聞く病名で何のこと分かりませんでした。医師の説明は希望のない暗い話ばかりで奈落の底につきおとされたようで、親の気持ちなどおかまいなしで、淡々と話は続けました。その時の雰囲気や情景は今でも脳裏に焼き付いて忘れる事が出来ません。なかなか現実を受け止められず、これは夢であってほしいと何度思った事でしょう。母に二男の事を話すと「悪い事をした訳でもないし胸を張って正々堂々として、二つの目でしっかりり世の中をみさせ、この子を福の神と思って大切に育てなさい。」と励まされ、改めて親を尊敬しました。お金ではなく、言葉の財産をもらい私の宝ものです。母の激励もあり一筋の光が見えてきたようでこれからの子育てを頑張ろうという気持ちになりました。子供は生まれる前に、「どの親のところに生まれたら僕をしあわせにしてくれるだろうか？」と空の上から探していて、あなたたちの所に生まれてきました。と、いうことを本で読み深い感銘をうけました。その後子供を通して沢山の人の出会いがあり同じ悩みを持つ親同志と本音で話す事が出来助言、情報を共有しあい、子供の為に良いと思う事は色々やってきました。遠くは大阪まで行った事もあります。とにかく必死でした。人との出会いの大切さを学んだのもこの時期でした。しあわせな事に私には理解してくれ、家族、友人、そして地域の人たち、良い環境に恵まれています。親はいつまでも元気でありません。将来の事を考えると不安はぬぐいきれませんが、安心して暮らせる社会になって欲しいとせつに願っています。時折私の育て方が間違っていたのではと、自問自答する事もありますが、あと子供と一緒に過ごせる時間はどれくらい有るか分かりませんが、子供の「今日は楽しかった」という言葉を聞き、沢山の思い出作りに日々頑張っ、一日一日を大切に過ごして生きたいと思っています。

伊藤 利枝子

三人兄弟の次男坊は今年26歳になります。自閉症と診断されても、まだ幼い頃は就労できるのではないかと希望を持ち、色々な勉強会に参加し、情報を集めていました。しかし成長するにつれ子供の現実を見て、就労は難しいと分かり、今はセルフときわで生活介護でお世話になっていきます。でも毎日の生活がただ見守られるだけでは寂しい。朝、施設に行き、何か仕事をした、と考える毎日を送って欲しいと思いました。ときわではウエスやポスティングなど、能力に応じた作業をさせていただき、また、外出行事でも色々な形の外出を模索していただき、息子も楽しみにしているのではないかと思います。

そんな子が、7月からセルフ南風に入所することになりました。いつかは入所と待機登録をし、その日に備えて少しでも自分で出来ることを増やしておかなければと思っていましたが、一人で出来ることは少なく、(まだ時間はあるからボチボチ)なんて考えていたのに「本当に急に決まった」という感じでした。「いずれ入所」と考えたときから、その日に備えてもつと準備しておけばよかったと後悔を禁じ得ません。様々な場面で手を借りながら、支えていただきながらの生活が始まります。この子は本当にやっていけるのだろうか、と送り出すことがとても不安です。ですが、今なら(もし、無理だった時、一旦帰ってまたやり直す。それを受け入れられる体力がまだ親にある)と思い、この機会を先送りにしないでやってみようと思いました。

これまでスイミングや音楽療法など楽しみな時間を作ってきましたが、それも今後はなくなり、帰宅後は本当に一人で時間を過ごさなければいけません。贅沢を言えば、自治体のスポーツクラブのような余暇活動の場(障害者が集まって楽しめるサークル活動みたいなもの)が出来ればいいのになあと思います。在宅でも、入所していても、子供たちが楽しいと思える日々を送って欲しいです。

ドライブデランチ

西村佐重子

就労支援事業所レストラン「フィオーレ」に昼食を食べに行きました。平日でしたがお客さんは多かったです。食事が来るまで店内の手作りパンコーナーで「お好み焼きパン」「明太子パン」を買いました。私は「エビフライカレー」と紅茶をいただきました。2尾のエビが大きく、カレーは濃い味でしたが美味しかったです。紅茶のティーパックで3倍くらい有りました。お店のウエイトレスさんも優しくかったです。とても楽しいランチタイムでした。

セルプ南風



セルプときわ

個別外出活動

〜海響館へ行きました〜

セルプときわでは、利用者の方々の支援を手厚くするという目的で個別外出活動を実施しています。内容としては、利用者の方の希望や、ニーズに合わせた個別での買い物や外食をはじめ、様々な活動を企画し、実施しています。

今回は利用者の方から挙がった「魚をみたい」という声から、社会経験を積むという観点を持ち、またリフレッシュを兼ねて海響館へ行きました。

実際に個別外出活動を行っての利用者の方の声です。

「さん「イルカを見ました。たのしかったです、また行きたい。」

「さん「魚がかわいかったです。カメのぬいぐるみを買いました。また行きたいです。」

「Oさん「スナメリ見た。また行きたい。」

このように今

後も、利用者の方々が目的を持って、楽しく学べる個別外出活動を考え、企画して行っています。



セルプ岡の辻

新川市まつり出店販売

5月5日、新川市まつりに利用者4名と職員2名で出店販売してきました。昨年度、千寿会様から助成を受けたワッフル器を使用したの初めての出店販売でした。焼きたてのワッフルをたくさんの方に試食していただいで、ワッフルは200個以上が完売しました。その他にもパン・クッキー・ラスク・コーヒーマも販売し大忙しの販売会でした。当日はとてもよい天気で大パツリ日に焼けた方もいらっしゃいました。



セルプ藤山

コローニ協会の

見学に伺いました

5月22日の午後からセルプ藤山では、防府の社会福祉法人山口県コローニ協会の見学をさせて頂きました。印刷物の製造、箱加工、ウエス作業、組み立て加工等の働く場の見学や生活介護や入所施設の見学が行われました。特にウエス事業に関しては、藤山でも展開している事業なので参考になる部分も多く、今後の生産活動にも繋げていければと思います。当日は、鶏卵せんべいの店頭販売も行われており、色々な方が購入しておられました。



ぴあ南風

「常に心に

ゆとりを持って！」

平成30年5月25日、平成30年度第1回ぴあカウンセラー全体会が行われました。その中で、ぴあカウンセラーとして人の相談に乗る時には、常に心にゆとりを持つように心がけていますという話が出ました。我々ぴあ南風も、障害を持たれた方やご家族の方とお話しをする事が仕事です。とかく忙しい日常の中でも常に心にゆとりを持ち、相談者の思いにしっかりと寄り添えるように心がけていきたいと思っています。



「職場におけるOJTについて」

セルプ南風 次長 勝山憲和

私が法人に入職した頃は、OJTと言われる考え方はあまり浸透していなかった様に思う。職人の世界ではないが、仕事の仕方は盗むもの、自分で考える事を強いられていた様に思われる。全く教えられていないという事は勿論無いが「これじゃまずい」「いかなものか」という様な事で、即座に行動しなければならぬ状況にあったかと思われる。

OJTではお互いの「関係性」が大事で、そこには「信用(多分裏切らないだろう、という消極的な意味合い)」ではなく「信頼(絶対に裏切らない)」があるべきである。そこには、指導する側の人間の立場や役職とは関係無く、指導される側の人間に「信頼」されているかどうかというところに他ならない。その「信頼」構築の為の3つのポイントがある。

①たとえ部下がミスした場合でも突き放す事なく同じ目線で問題を共有する事が出来るか、ミスをカバーする事が出来るか、という姿勢。

②意識して「笑顔」でコミュニケーションをとるという姿勢。

③良い意味で「一貫性」Ⅱ「拘り」を持って相対する姿勢。

「拘り」とは、例えば「仕事の早さ」であれば、まず自分の仕事を工夫しながら進めなければならないから、必然的に仕事の時間配分を適切に考える様になる。時間をかけるべき事はかけ、早く終わらせるべき事は終わらせる、という様にメリハリがつき、それがその人の仕事の質につながっていく事になるからだ。

つまりOJTでは、恐怖喚起的な手法ではなく、もっとメリッと感を前面に出しながら、具体的なコミュニケーションをとっていく事。それは、思っているだけでなく、口に出し、実際に行動する姿勢を意識していく事が指導する立場の者に求められるものであると思う。

社会福祉法人

千寿会様より

助成金を頂きました。

セルプ藤山

社会福祉法人千寿会様の助成でクレーンスケールの寄贈を受けました。リネン調達した際にウエス原料の計量時に使用しております。藤山では、原料を仕入する頻度も多く、お陰様で業務の効率化と以前と比較しても大幅な時間短縮に繋げる事が出来ました。今後ウエスの生産活動に力を注ぐとともに利用者の工賃向上を目指したいと思っております。

この度は、心温まる善意を頂き、誠にありがとうございました。



ありがとうございました

ワッフル器を導入しました

セルプ岡の辻

平成29年度事業として、社会福祉法人千寿会様の助成を受け、ワッフル器を導入いたしました。

就労継続支援B型の出店販売では、「焼きたてを味わっていただきたい」と。焼き立てのベルギーワッフルを実演販売できるように、普段はベーカリー事業四ツ葉にて出来立てワッフルをお客様に提供するこ



利用者の方が製造から販売まで作業に携われ、出店販売等でも「はたらく」場の提供ができるようになりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後も利用者の方々が地域で活躍し、自分らしく生活を送ることを目指しながら、様々な機会を活用し工賃向上を図りたいと思います。

◆事業所紹介◆

共同生活援助 グループホームサンハイツ

地域において、安心してその人らしい生活を送ることが
できるよう暮らしを支え、柔軟な個別支援をめざします。

～インクルーシブな生活の実現～

管理室 2部屋

利用者共有スペース。主に食事
提供。ほか、薬管理や金銭管理、
生活援助をおこないます。

サンハイツI・サンハイツII

相談援助、手続き代行
通院介助、夜間対応など
おこないます。近くに…
内科、歯科、皮膚科
コンビニ、郵便局 など。
「山門」バス停目の前。

H29年度

自動火災報知器設置。

居室 全19部屋

各部屋完全個室。
トイレ・お風呂、エアコン、
洗濯機、IH調理器付。

安全対策

H30年6月防災対策をおこないました！

今回は「熱中症対策」について参加者12名と共有しました。
予防ビデオ鑑賞後、日常的にこういった対策ができるか、など
ポイントごと確認し合いました。☆各部屋湿度温度計を
設置しています。

春の叙勲で 瑞宝双光章を受章



4月29日付で春の叙勲の受章者を発表されました。山口県内から69名受章されました。宇部市からは、5名授与されました。セルプ藤山からも3月末まで在職された村田勇治さんが瑞宝双光章(更生保護功勞)を受章されました。

村田さんより受章のコメントを頂戴しましたのでご紹介させていただきます。

平成30年春の叙勲に際し(永年の保護司として)瑞宝双光章をいただき早速丁寧な御祝意また記念品を賜り厚く御礼を申し上げます。

これもひとえに皆様方のご指導とご支援の賜と家族共々深く感謝申し上げます。また3月31日付でセルプ藤山を退職しました。在職中は大変お世話になりました。あらためてお礼を申し上げます。

今後とも皆様の御健康と御健勝をお祈り申し上げます。

平成30年 7月吉日
村田 勇治

村田さんは、1984年から市の職員として働く傍ら、保護司となり、犯罪に

手を染めた人たちの社会復帰と再犯防止に尽力されました。シンナーや暴走行為で、保護観察処分になった子どもとの面談では、心を開いてくれるまで粘り強く接しておられました。関わった子どもが社会の一員として立派に働く姿を目にするたびに、嬉しい気持ちになられたとの事でした。セルプ藤山でも長らく勤務され、在職中は、利用者の方々の送迎支援を担って頂きました。今回の受章の知らせが届き、職員一同、嬉しく思っております。

編集後記

一日、一日がワクワク・楽しい日々
でありますように。 松岡

病気やけがに気を付けてこの夏を
乗り切ります。 吉川

今年も半分が終わり、なんだか焦
りを感じます。 部坂

暑さに負けずに業務に励んでいき
たいと思います。 三好

気持ちはまだまだ青春真っ只中の
20代！全力で駆け抜けます。 村田

言うまいと思えど今日の暑さかな
暑っ！ 山田